

TOMOWEL

共にある、未来へ

BUSINESS REPORT

第141期 中間株主通信

2020年4月1日～2020年9月30日

共同印刷株式会社

証券コード:7914

株主の皆さまへ

株主の皆さまにおかれましては、日頃より格別のご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。
当第2四半期(累計)の事業概況をご報告申し上げます。

当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響による社会経済活動の停滞が長期化し、厳しい状況で推移いたしました。印刷業界におきましても、様々な企業・自治体における事業の中止・延期が相次ぎ、外出自粛要請に伴う個人消費の需要変動により一部製品・サービスが減少したことなどから、厳しい経営環境が続きました。その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高・利益ともに前年同期を下回り、減収減益となりました。

新型コロナウイルスの感染再拡大の懸念もあり、依然として先行き不透明な状況の継続が見込まれます。ニューノーマル時代の多様な働き方やコミュニケーションの在り方、エシカル消費などに適応した製品・サービスの提供に注力するとともに、当グループの持つノウハウや技術力を最大限活用し、業績の早期回復に努めてまいります。

情報系事業では、動画配信やデジタルサイネージを活かした、対面での接客に代わる販促支援ソリューションや、オンライン・オフラインを問わない高セキュリティ環境下での本人確認サービス等の提供を開始しております。今後、デジタルの活用を含め、安全かつ利便性の高い非対面・非接触コミュニケーションを実現する製品やソリューションサービスの提案を推進いたします。生活・産業資材系事業では、環境配慮型製品の一つとして、当社の独自技術を駆使した高濃度アルコールに対応可能なフィルムの開発に成功しました。これは、パウチ包装の用途を広げ、プラスチック使用量の低減および廃棄物の減容化を可能にするものです。これからも製品のライフサイクルにおける環境負荷低減に向けた製品開発に注力し、事業拡大を図ってまいります。

当グループは、コーポレートブランド「TOMOWEL」のもと、人と社会の豊かな未来を目指して挑戦し、持続的な企業価値の向上に努めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、尚一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年12月

代表取締役社長 藤森康彰



売上高

43,869百万円

(前年同期比9.7%減)

営業利益

△199百万円

(前年同期は421百万円)

経常利益

274百万円

(前年同期比66.9%減)

親会社株主に帰属する
四半期純利益

156百万円

(前年同期比60.7%減)

TOMOWEL

共にある、未来へ



コーポレートブランド
について動画がご覧
いただけます

TOMOWEL(トモウエル)は「共に良い関係を築く」という意味を込めて名付けられました。

日本語の「とも(共・友・知・智)」と、英語の「WEL(Wellの古語:良い・満ちる・親しみ)」を合わせて創った言葉です。

共生、友愛、知識、智恵など人間本来の良さや能力を結集して、充実した「豊かな世界」を実現していくという想いを込めています。

ブランドロゴのデザインコンセプトは、人間・未来・意志の強さ・高品質・高精度です。

コーポレートメッセージである「共にある、未来へ」に、私たちの想いを凝縮しました。

「共(とも)」は、共同印刷の「共」でもあります。

私たちのアイデンティティの核であり、社会における存在価値、そして理想の姿勢を表す言葉であり、創り出したい未来そのものです。

「関わるすべてと共に良い関係であり、未来を創り拓げていく」

TOMOWELに込めた私たちの想いです。

業績ハイライト(連結)

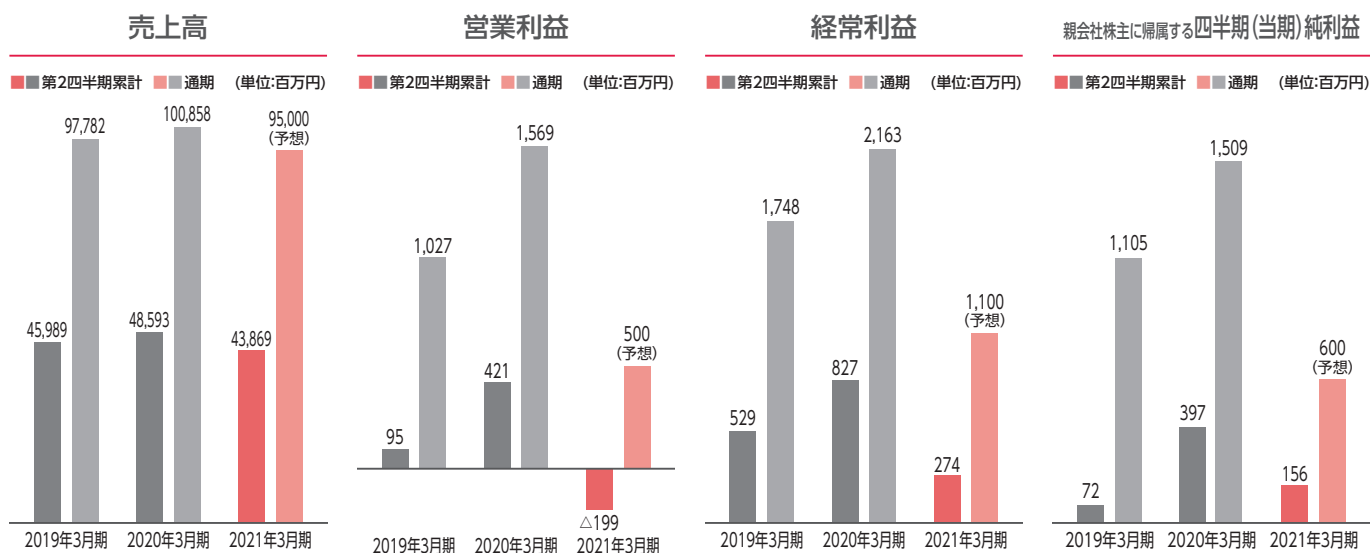
Point.1

新型コロナウイルス感染症の影響により、出版商印分野およびデータプリント・BPO、乗車券類の売上高が大幅に減少。UVケア製品の需要が低迷したことからチューブも減少。

Point.2

今後、国内経済は回復に向かうものの需要の回復には時間がかかると見込まれるため、今期の業績は前期比で大幅に悪化する見通し。中期経営計画の目標数値は取り下げに。

	(百万円)	2019年3月期		2020年3月期		2021年3月期	
		第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期	第2四半期累計	通期(予想)
売上高	(百万円)	45,989	97,782	48,593	100,858	43,869	95,000
営業利益	(百万円)	95	1,027	421	1,569	△199	500
経常利益	(百万円)	529	1,748	827	2,163	274	1,100
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	(百万円)	72	1,105	397	1,509	156	600



IRサイトのご案内

最新のIR情報の詳細は、当社Webサイトに掲載しています。ぜひご覧ください。

https://www.kyodoprinting.co.jp/ir_info/

または

共同印刷 IR

検索

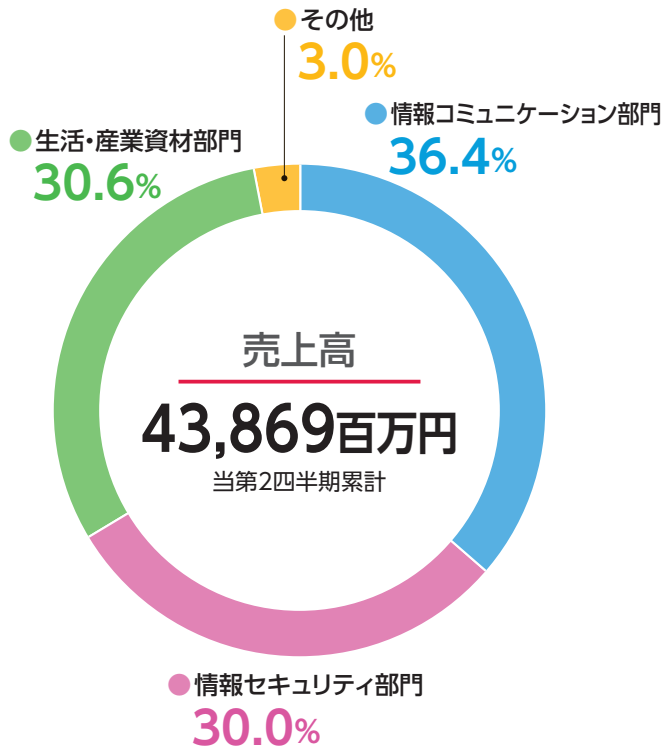


スマートフォンからも
ご覧いただけます

IRカレンダー



セグメント別概況(連結)

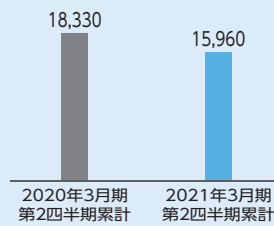


情報コミュニケーション部門

- 取扱品目 定期刊行物、書籍、一般商業印刷、電子書籍



- 売上高 (百万円)



- 連結売上高

15,960百万円
(前年同期比12.9%減)

- 営業損失

513百万円
(前年同期は営業損失389百万円)

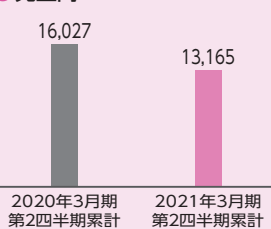
出版印刷では、コミックスや学習参考書の増加、マンガ関連のノベルティの受注増などはありませんでしたが、定期刊行物が大幅に減少しました。一般商業印刷は、情報誌・カタログが減少したほか、店頭プロモーションの需要減や各種キャンペーンの中止などの影響を受け大幅に減少しました。当部門では、生産体制の最適化に向け10月1日付で印刷・製本加工の一貫生産を行う共同印刷メディアプロダクト(株)をスタートさせています。

情報セキュリティ部門

- 取扱品目 ビジネスフォーム、データプリント、BPO、通帳・証券類、各種カード、決済ソリューション事業



- 売上高 (百万円)



- 連結売上高

13,165百万円
(前年同期比17.9%減)

- 営業利益

436百万円
(前年同期比46.6%減)

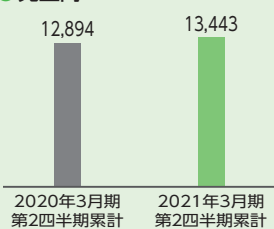
各種試験関係の中止・延期により関連するBPOが減少したことや、取引先企業の施策変更によるDM類の減少により、ビジネスフォームが減少しました。旅客需要の低下による乗車券類の減少等により証券類も減少しましたが、ICカードは、交通系カードを中心に堅調に推移しました。今後は、政府・自治体における経済活性化施策関連の取り込みや、年度後半に再開が予想される試験関係への対応に注力してまいります。

生活・産業資材部門

- 取扱品目 紙器、軟包装、チューブ、建材、金属印刷、高性能製品



- 売上高 (百万円)



- 連結売上高

13,443百万円
(前年同期比4.3%増)

- 営業損失

115百万円
(前年同期は営業損失123百万円)

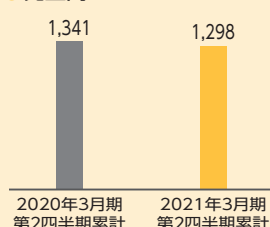
チューブは、歯磨き向けやハンドクリーム向けが増加した一方でUVケア製品向けが大幅に減少しました。紙器および軟包装は、家庭用の日用品・食品向けが堅調に推移する一方、業務用包材は減少となりました。産業資材は、医薬品向けを中心に増加しました。2019年11月より本格稼働を開始したブローボトル事業は順調に推移しています。今後、新しい生活様式の中で求められるパッケージや環境対応製品の開発に努めてまいります。

その他

- 取扱品目 不動産管理、物流業務



- 売上高 (百万円)



- 連結売上高

1,298百万円
(前年同期比3.2%減)

- 営業利益

12百万円
(前年同期比83.1%減)

偽造防止関連製品は増加しましたが、物流業務が減少したため、部門全体の売上高は前年同期を下回りました。首都圏物流センターの事業拡大に向け、クリーンルームを生かした提案を進めてまいります。

ニュース&トピックス

次世代コンソーシアム「WIC@LAB®(ウィカラボ)」を設立 女性インサイト研究から新たなマーケティング手法を創出

2020年6月、多様化する女性インサイトを研究するマーケティングラボ「WIC@LAB」が発足しました。

当社は2015年から継続している女性の意識調査の結果から、多くの女性が社会や環境の変化を敏感に察知し、素直に取り込む柔軟性を持っていると考えています。「WIC@LAB」では、こうした“社会変化の写し鏡”ともいえる女性のインサイトの多様性に注目してデータを収集・活用。女性インサイトの研究とデータ活用を基本とするマーケティング手法習得のためのプログラム提供と「ペルソナキューブ®※」の開発、運用を活動の柱に、多業種間の共創プラットフォーム構築をめざします。

※独自の手法で収集した20代から60代の女性10,000人へのアンケートを基盤にしたマーケティングプラットフォーム



金融機関の継続的顧客管理支援サービスの提供開始 オンラインでの顧客情報取得に対応

2020年8月、マネーロンダリング防止およびテロ資金供与対策における金融機関の継続的顧客管理支援サービスを開始しました。金融機関は、従来の書面郵送に加え、Webアプリを活用したオンラインでの顧客情報取得が可能となります。

金融庁のガイドラインにより、金融機関はすべての顧客に対してリスクを特定・評価し、リスクに応じた継続的な顧客管理が求められていますが、業務負荷とコストが課題となっています。当社のWebアプリは、本人確認書類の高精度なOCR読み取りと分かりやすい入力画面で回答率の向上と不備削減を実現し、金融機関の業務負荷とコストの最小化に貢献します。

個人情報の取り扱いと顧客のコミュニケーションの実績を生かし、今後も外部環境に即したサービスを迅速に提供していきます。



本人確認書類の確認画面(イメージ)

高濃度アルコールに対応可能なアルミ積層構成フィルムを開発 食品・飲料向けパウチ包材として提供開始

2020年6月、アルコール成分の浸透によってデラミネーション(層間剥離)を起こさず、安全に高濃度アルコール(エタノール)が充填できる食品・飲料向けのアルミ積層構成フィルムを開発し、提供を開始しました。

当社は、持続可能な社会の実現に貢献するため、環境に配慮した製品づくりを行っており、その一環として、ボトル容器の代替包装となるパウチ包装の拡充に取り組んでいます。

今回開発したアルミ積層構成フィルムは、アルミ積層部のラミネート強度を低下しづらくする独自技術を駆使することで、高濃度のアルコール成分を含む食品や飲料を、パウチ包装へ安全に充填することを可能にしました。今後食品および飲料業界への販売促進に取り組むと共に、衛生管理商品への展開も視野に開発を進めていきます。



さまざまな生活者ニーズに対応

2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けて CO₂排出権取り引きを活用した地域への貢献



「ゼロカーボン埼玉」協力へのお礼状

当グループでは、低炭素社会の実現をめざしてCO₂の削減に取り組んでいます。

情報セキュリティ部門の主力工場である鶴ヶ島工場(埼玉県)でもCO₂の削減を積極的に進め、2019年度には県の定める目標値を超える削減を達成しました。同工場では2020年5月、地域全体のCO₂削減に役立てるため、目標を超過したCO₂の余剰排出量14,679トンの排出権全量を埼玉県に寄付しました。これは埼玉県が実施する「ゼロカーボン埼玉」というカーボンオフセット(CO₂排出権取り引き)を活用した活動です。埼玉県が排出するCO₂排出量から、当社が削減したCO₂排出量を相殺して地域全体での削減をめざします。私たちは、自社だけでなく、地域と共に2050年温室効果ガス排出実質ゼロに向けた取り組みを進めていきます。

当グループのCSR活動については
こちらをご覧ください。



<https://www.kyodoprinting.co.jp/social-environment/>

スマートフォンからも
ご覧いただけます



Information

● 会社情報

商号	共同印刷株式会社 (Kyodo Printing Co., Ltd.)
創業	1897(明治30)年 6月25日
設立	1925(大正14)年12月26日
資本金	45億1千万円
本社	〒112-8501 東京都文京区小石川4-14-12 Tel. 03-3817-2071(コーポレートコミュニケーション部)

● 役員

取締役

代表取締役社長	藤森 康彰
取締役 専務執行役員	清水 市司
取締役 専務執行役員	渡邊 秀典
取締役 常務執行役員	里村 憲治
取締役 常務執行役員	松崎 広孝
社外取締役	高岡 美佳
社外取締役	内藤 常男

監査役

常勤監査役	塩澤 幹彦
常勤監査役	布施 光浩
社外監査役	徳岡 卓樹
社外監査役	古谷 昌彦

● グループ会社

情報コミュニケーション部門

株式会社コスモグラフィック/共同印刷メディアプロダクト株式会社/
デジタルカタパルト株式会社/共同日本写真印刷株式会社/
TOMOWEL Promotion株式会社

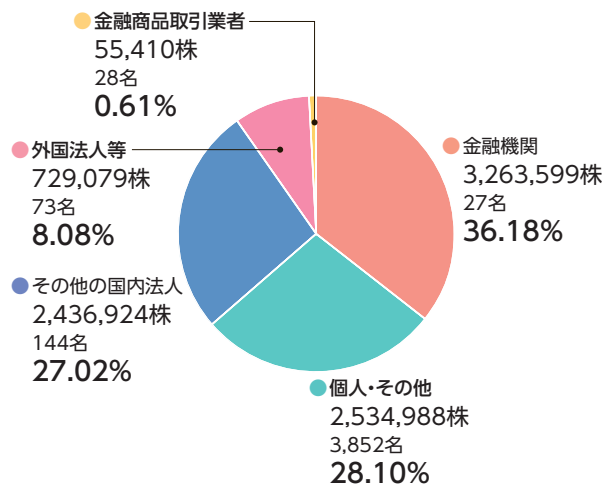
情報セキュリティ部門

共同印刷西日本株式会社/共同エフテック株式会社/TOMOWEL
Payment Service株式会社

● 株式の状況 (2020年9月30日現在)

発行済株式総数	9,020,000株 (うち自己株式373,658株)
株主数	4,124名

株主構成(株式数比率)



生活・産業資材部門

常磐共同印刷株式会社/共同NPIパッケージ株式会社/共同クレ
ハプロボトル株式会社/共印商貿(上海)有限公司/KYODO
PRINTING(VIETNAM)CO.LTD./PT Arisu Graphic Prima

その他

共同物流株式会社/共同総業株式会社/共同印刷ビジネスソリューショ
ンズ株式会社
(関連会社)共同製本株式会社

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日
(株主確定日)	中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵便物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	0120-782-031 (平日9:00~17:00)
取次事務	三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店
証券コード	7914
電子公告掲載	共同印刷株式会社ウェブサイト https://www.kyodoprinting.co.jp/

住所変更、単元未満株式の買取・買増などのお申し出先について

株主さまの口座のある証券会社にお申し出ください。なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主さまは、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申し出ください。

「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しています「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねています。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受け取りの株主さまにつきましては、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいています。確定申告をされる株主さまは大切に保管ください。

Webサイトのご案内

Webサイトの速報性をいかに、早く、そして分かりやすく、ステークホルダーの皆さまに情報を発信しております。ぜひご覧ください。

<https://www.kyodoprinting.co.jp/>

または

共同印刷

検索



スマートフォンからも
ご覧いただけます

TOMOWEL | 共同印刷株式会社

